

バス路線評価シート(サンプル)

路線名	下山バス (ささゆりバス)		路線番号	—						
			系統番号	94						
路線分類	生活交通路線				補助区分	委託(国補助)				
路線経緯	H21.3.2運行開始、H26.10.1・H27.5.18変更									
	地域バス協議会「ささゆりバス委員会」にてバス導入から利用促進、運行内容変更等を検討している。									
主な利用目的	下山地区高校生の通学の移動手段									
	下山地区住民の市街地・北部診療所への移動手段									
諸元	系統(区間)		岡崎げんき館～桃ヶ久保～北部診療所、岡崎げんき館～桃ヶ久保、豊田鉄工～桃ヶ久保、北部診療所～豊田鉄工							
	運行本数		岡崎げんき館～桃ヶ久保～北部診療所		岡崎げんき館～桃ヶ久保		豊田鉄工～桃ヶ久保		北部診療所～豊田鉄工	
			下り	上り	下り	上り	下り	上り	下り	上り
			週2便	週2便	週30便	週30便	週2便	週2便	週6便	週6便
	キロ程(km)		31.5	31.5	25.9	25.9	13.4	13.4	19.0	19.0
	運行時間帯		6時台～17時台							
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度		
利用人数(人)		5,544	4,665	4,170	4,920					
運行経費(千円)		11,319	11,273	13,068	14,022					
運賃収入(千円)					1,121					
国補助額(千円)					1,599					
市委託料(千円)					11,302					
収支率(%) ※		22.4	29.9	16.7	19.4					
利用者補助額(円/人)	#DIV/0!	0	0	0	2,297					
1便当り利用者数(人) ※		3.2	2.7	2.8	2.9					
利用率(%) ※					2.35					
※ 収支率、1便当り利用者数、利用率は定量評価指標										
接続する交通結節点(鉄道型)	—		—							
	—		—							
接続する交通結節点(バス停型)	市民病院									
接続するバス基幹路線	岡崎南市内(美合)		市民病院							
	美合・病院		市民病院							
	岡崎駅・市民病院		市民病院							
	大門駅・市民病院		市民病院							

路線名	下山バス(ささゆりバス)			系統番号	—		
				路線番号	94		
路線分類	生活交通路線			補助区分	委託(国補助)		
定量評価	指標		目標数値	数値			指標評価
				H27年度	H28年度	H29年度	
	収支率(%)		25.0	19.4			×
	1便当り利用者数(人)		1.0	2.9			○
		利用率(%)	0.25	2.35			○
定性評価	指標		評価の視点	年度	区分評価		
	沿線住民としての必要性	地域のバスを支える意志があるかどうか	運行維持への地域の取組みがあるかどうか	H27年度	有	当該路線は地域住民の主体的な利用促進等の取組みを行っている。	
				H28年度			
				H29年度			
		利用者数推移	1便当り利用者数が増加傾向にあるかどうか	H27年度	増	H26 2.8人 H27 2.9人 増加傾向にある	
				H28年度			
				H29年度			
		利用率推移	利用率が増加傾向にあるかどうか	H27年度	増	H26 2.20% H27 2.35% 増加傾向にある	
				H28年度			
				H29年度			
	行政としての必要性	公共交通ネットワーク上の重要性	公共交通ネットワーク上必要な路線かどうか	H27年度	有	市民病院、岡崎げんき館等で基幹路線と接続し、必要な路線である。	
				H28年度			
				H29年度			
		路線廃止の市施策への影響の有無	路線廃止した場合、他の市施策上影響があるかどうか	H27年度	有	山村振興施策上、重要な役割を担っているため、他の市施策に影響がある。	
				H28年度			
				H29年度			
	サービス水準の適切性	生活に必要な施設へのアクセス性	通勤・通学、買い物、通院など生活に必要な施設にアクセス可能か(乗継も含め)	H27年度	良	沿線に学校、商業施設、診療所があり、バス利用者に活用されている。	
			H28年度				
			H29年度				
安全性・快適性等利用者の利便性		安全な運行がされているか	H27年度	良	事故は発生しておらず、10分以上の遅延は発生していない。		
			H28年度				
			H29年度				
評価結果	収支率は満たしていないが、他の定量評価指標を満たしており、地域住民の主体的な利用促進等の活動により、生活の足としての移動手段となっているため、利用状況をモニタリングしながら運行を継続する。						